

# 「八木節」で交流

## 大山カレτζジ

大山カレτζジは、音楽の授業で「八木節」を一年間通して練習しました。八木節を演奏するのに必要な太鼓は、上中山保育所から借りていました。

3月8日(木)の大山カレτζジの学習発表会では、一年間の練習の成果を関係者の前で披露しました。そして学習発表会終了後、全員で上中山保

育所へ太鼓を返しに行き、太鼓を借りたお礼に「八木節」を園児の前で演奏しました。そろいのハツピを着たカレτζジ生の生演奏に園児たちは大喜び。お返しに年長児が「こども八木節おどり」を踊り、大山カレτζジ生たちも大きな拍手を送りました。「八木節」が縁となって、ほのぼのとした交流ができました。



▲上中山保育所にて

# 「スコーン、おいしいね」

手軽にあま〜い体験?

## 国際料理教室

大山町日韓親善交流協会(後藤史朗会長)が主催する国際料理教室が3月18日



▲「生地を伸ばしたら、コップで丸く抜いて」

(日)、保健福祉センターなわで行われました。今回は、オーストラリア出身のシェリーさんに「スコーン」を教えてもらいました。



小麦粉、ベーキングパウダー、バター、塩、牛乳と家庭で簡単に準備できる材料ばかりとあって、参加者も興味津々。「簡単に作れるので、おやつや朝食によく食べるんですよ」とシェリーさん。おいしそうに焼けたスコーンにジャムやカスタードクリームをたっぷりつけて、味わいました。

# 大蛇が練り歩く

## 4年に一度の赤松荒神祭



3月4日(日)、赤松地区で五穀豊穡・子孫繁栄を願う「荒神祭」が行われました。約1反分の稲わらを使い、2日ばかりで製作した大蛇を住民たちが担ぎます。全長21メートルもの大蛇が前後左右に大きく揺れながら地区内を練り歩いたあと、日吉神社に奉納されました。

今年はあいにくの雨模様となりましたが、行列を先導する子どもたちの元気な声が響いていました。



▲大蛇の前で、子どもたちが記念写真をパチリ

▶雨を含んで、さらに重い!

